

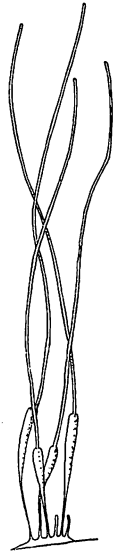
ら外部に脱出し、趨光性や海水の動きによつて表面に浮上し、潮流に運ばれてタネ場の筵などに着生するわけである。着生した胞子は間もなく発芽し約2潮前後ぐらい後に肉眼で見られる様になるが、場所により多少発育程度は異なる。移植はこの後更に一潮程度後に行われるわけであるが、その後は成長早く11月末か12月上旬頃には摘採出来る様になる。これは翌年の4、5月頃まで繁茂するが、葉体が成熟すると再び配偶子が形成されるのである。

## 日本海北部から報告された 褐藻の1新属

時 田 郁

日本海北部の De-Castri 湾で発見された面白い褐藻の一種についてレニングラードの A. D. ZINOVA 女史が研究し、新属 *Stschapovia* を立て、種名を *Stschapovia flagellaris* A. ZINOVA として発表している (A. D. ZINOVA: A new family, a new genus and a new species of Brown Algae. (In Russian). Contributions from Botanical Institute in the name of V. L. KOMOROV, Academy of Science, U.S.S.R. Series II, No. 9, 1954, pp. 223-244, Figs. 1-12)。1948年生物学者 Dr. T. F. STSCHAPOV の発見した海藻で、属名は同氏の名から取り、ロシア語の発音では、シチャポヴィア属となる。地理的に考えて将来北海道近海でも見つかることがあるかもしれないので、ここに紹介しておくのもむだではないと思う。この海藻は *Ordo Dictyosiphonales (incl. Punctariales)* に属し、科は A. ZINOVA (1953) の新設した *Delamareaceae* に所属する。この科の内容についてはあとに記す。

植物体の外形は図に示すように、盤状の根の上に細い円柱状の枝のない直立体が簇生し、直立体の上部は鞭状で、その下の方は急に棍棒状の肥厚部に移行し、肥厚部の下は次第に細くなつて細い茎部に移行する。鞭状部の長さは22



植物体の外観  
(A. Zinova)

cmに達し、太さは0.3~0.5 mmで、棍棒状の部は長さ15~25 mm、太さ1 mmに達する。茎部は長さ10 mm、太さ0.3 mmである。

組織は、盤状根では多層の大形細胞の密集から成り、表面に厚いcuticleがある。直立体では中心部に細長い細胞の縦列が密集しており、体の上部では次第に細胞列の結合が緩くなつて中空となる。この中心部の外側には、外に行くにつれて次第に太く短くなる細胞の縦列の密集した組織が取りかこんでおり、その外には1層の細胞から成る皮層がある。皮層は鞭状部では小さい方形細胞から成るが、肥厚部では大きな円柱状乃至棍棒状の細胞の柵状に並んだものから成り、その細胞の高さは100~132  $\mu$ 、太さは10~35  $\mu$ で、その頂部に帯色体とphysodes (フコサン胞) が集つている。この細胞の或るものは頂の膜が肥厚し、その中央に小さい孔を有し、胞子嚢ではないかと思われるものがある。しかし記載には胞子嚢未詳としてある。

生長点は図 (Fig. 6) によると直立体の頂部にあり、その部を表面から見ると1個の小さい頂細胞と、方形—長方形の細胞を縦に積み重ねた形の組織から出来ている。

属の diagnosis は p. 241 に、種のは p. 242 に記されている。

次に新しい科とした Delamareaceae は従来 Dictyosiphonaceae に所属させていた (FRITSCH, 1945) *Delamarea* を土台として A. ZINOVA が設けた科で (1953. *Brown Algae in the northern seas of U.S.S.R.* p. 123) 1956年の論文では更に3属を追加し、この科の内容を次のようなものとしている。

Fam. Delamareaceae A. ZINOVA, 1953.

Gen. 1. *Delamarea* HARIOT, 1889.

(1) *D. attenuata* (KJELLM.) ROSENV., 1893.

Gen. 2. *Cladothele* HOOK. et HARV., 1845.

(1) *C. Decaisnei* HOOK. et HARV., 1845.

(2) *C. striarioides* (SKOTTSB.) A. ZIN., 1954.

Syn. *C. Decaisnei* var. *striarioides* SKOTTSB., 1921.

Gen. 3. *Stschapovia* A. ZINOVA, 1954.

(1) *S. flagellaris* A. ZIN., 1954.

Gen. 4. *Coelocladia* ROSENV., 1893.

(1) *C. arctica* ROSENV., 1893.

以上いずれも日本近海には未だ知られていない。

(北海道大学水産学部)